

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名		新潟市スポーツ協会補助金						
[下段に制度概要を記載]		市民スポーツ活動の普及推進・競技力の向上などを目的とし、大会・イベント等のスポーツ普及振興事業、指導者育成事業、ジュニア強化事業などを行う同協会に対し、運営費を補助する。						
款・項・目		02総務費 01総務管理費 18スポーツ振興費						
所属等		文化スポーツ部 スポーツ振興課 管理グループ 電話025-226-2591						

年 度		令和5年度（1年目）	令和6年度（2年目）	令和7年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	28,603	30,931	33,605
	決算(千円)	28,603	27,992	33,605
補助率		10/10	10/10	10/10
目 標		本市のスポーツの普及振興、競技力の向上 <目標が数値でない場合の評価方法> 事業報告書等により、本市のスポーツの普及振興、競技力の向上などに寄与しているかを総合的に評価		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	各種大会や講習会等の開催、スポーツ少年団の普及育成など、スポーツの普及振興のための取組を着実に実施している。 また、ジュニア強化については、広く競技団体へ継続した支援を行っているほか、種目を絞っての重点的な強化にも取り組んでいる。 以上のことから、本市のスポーツの普及振興、競技力の向上などに寄与しており、目標を達成したと評価する。	各種大会や講習会等の開催、スポーツ少年団の普及育成など、スポーツの普及振興のための取組を着実に実施している。 また、ジュニア強化については、広く競技団体へ継続した支援を行っているほか、種目を絞っての重点的な強化にも取り組んでいる。 以上のことから、本市のスポーツの普及振興、競技力の向上などに寄与しており、目標を達成したと評価する。	各種大会や講習会等の開催、スポーツ少年団の普及育成など、スポーツの普及振興のための取組を着実に実施している。特に今年度は、市民向けスポーツ体験フェスタの種目を拡大するなど、スポーツの裾野拡大に力を入れている。 また、ジュニア強化については、広く競技団体へ継続した支援を行っているほか、種目を絞っての重点的な強化にも取り組んでいる。 以上のことから、本市のスポーツの普及振興、競技力の向上などに寄与しており、目標を達成したと評価する。
補助事業者による情報の公表		ホームページ、広報誌等		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 市民の体力向上、スポーツ活動の普及促進や強化、関係団体の活動支援等本市のスポーツ振興に必要な補助があることから継続する。 <g～hにおける取組> 当該補助金は、交付対象団体の事業経費等への補助ではなく、運営経費への補助であるため、目標の数値化は難しい。引き続き、本市のスポーツ振興への貢献状況を総合的に評価する。			
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 交付対象団体は、市民スポーツ活動の普及振興や競技力向上等に努めており、その事業は新潟市スポーツ推進計画の実現に向けて大きく寄与するものである。一方、事業の性質上収益の確保が難しく、引き続き運営経費への補助が必要であるため、継続とする。					